

文部省 高等科裁縫(暫定)



D5

302



文部省鑄造局刊行課

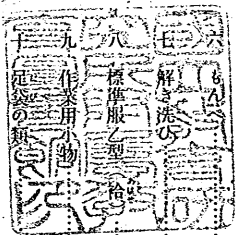
第一學年用

高等科裁縫

文部省

目 録

一 國民生活と衣類	一
二 衣類の材料	二
三 單長着	三
四 まる洗ひ	四
五 幼児用前掛	十五
六 もん	十七
七 解洗	十九
八 標準服之類	二十
九 作業用小物	二十七
十 冠履の類	二十八
十一 うは着(二部式)	二十九
十二 毛織物などの手入れ	三十五
附 録	
ミシンの手入れ	三十六



一 國民生活と衣類

國民は、一般に衣類も質實であります。が、氣風のゆるんだ時代には、かく華美な衣類が流行するものです。このやうに、衣類には國民性がうかがはれ、時代精神の現れを見ることができます。古來、わが國民の衣類生活がどのやうにいとなまれて來たかといひますと、いつの時代でも、簡素であり、清潔を愛しました。また、衣類の壽命の續く限り、縫ひ返し染め直し、十分役に立たせ、つぎまやかにくり廻しをする風があつて、それがおのづから衣類の形にまで影響してゐます。

よい身なりがよい心構へを作り、かひない身支度が勤勞に意氣込む心を生むのは、私どもがふだん経験してゐることです。したがつて質實な衣類は、逆に國民の精神を剛健にするものであります。わが國の女子のしとやかさ、奥ゆかしさが、衣類を通じて養はれてゐるのは、爭はない事實です。

衣類が知らず知らずの間に國民の健康に及ぶ影響は、見のがすことができません。胸高な帯のしめ方や厚着の弊などが問題とされるのは、そのためです。しかし、長い歴史のあるわが國の衣類は、氣候の變化に富み、湿度の高い風土や、建築の様式に應じて、おのづから保健にもかなふやうにできてゐます。そのゆるやかな構成は、暑い時には風通しがよく、寒い時には重ね着をするのに適してゐます。

ゆるやかな衣類は快いくつろぎを與へますが、働く時には能率をさまたげることがないとは限りません。國民の力の限り働き抜かうとしてゐる今の時代には、衣類は、できるだけ能率的で且つ使用の範圍の廣いも

二 衣類の材料

のが要求されます。男子の国民服や女子の標準服などは、この點も考へて制定されたものです。

國の經濟の上からいっても、衣類の消費節約は、重大な關係があります。それで、國としても、衣類材料の規格を定めたり、品物によつて製造を制限したり、配給を計畫的にしたり、いろいろな方策が、次々と實現されてゐます。私どもは、この國策に副ふ上からいっても、質實・簡素てくり廻しの上手なよい傳統をうけ繼いで、わが國の家の主婦たり、母たる道を身につけなければなりません。

二 衣類の材料

衣類に使ふ織物は、綿・絹・麻・毛及び人絹・スフ等で、纖維により織り方によつて、それぞれ性能が違ひます。綿織物が實用向きなのは、その丈夫なことなどのためです。絹物はその優雅な光澤のために、晴れ着に愛用されます。麻布はだざはりなどが夏着として好ましく、毛織物は保温性に富むので冬着に向きます。人絹は絹に似せて作られ、最近その品質はいちじるしく向上しました。スフは綿のやうに紡績され、丈夫さやだざはりも次第に改善されてゐます。私どもは、これらの特性を心得て、衣類の目的に従ひ、それ／＼その向き／＼に使はなければなりません。

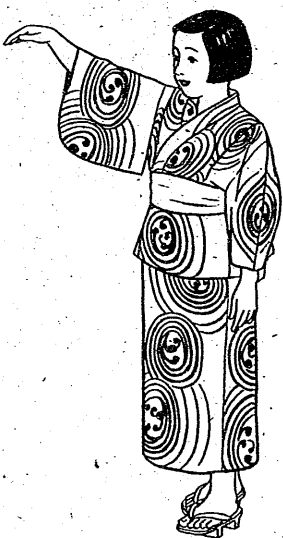
衣類の大切な目的は保健・衛生であります。そのためには、衣料の保温性・通氣性・吸濕性等に注意を要します。次に容儀を整へるためには、男女により、年齢などに應じて、柄を選ぶことも大切です。經濟上實用を主として地質や染色を選ぶことは、一層大切な心がけてです。一回

の洗濯で弱つてしまふやうな地質や、すぐにあせるやうな染色は、眞によいものとはいへません。そんな品物が店頭に現れるのは、國民精神が重厚と堅實を缺いた證據だともいへるでせう。

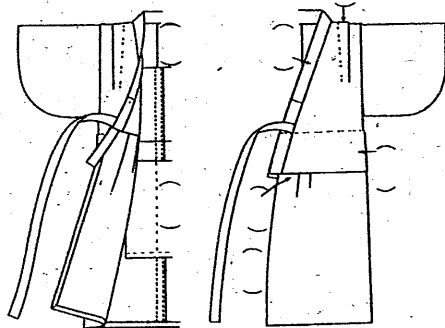
とはいへ、どんな衣料も、自然の恵み、諸人の勞苦のおかげですから、その物としての働きを十分に全うさせなければなりません。たとへ粗末な品物でも、だいじに取り扱はれてゐるのは、見るからに清く、氣持のよいものであります。

一 形

三 單長着



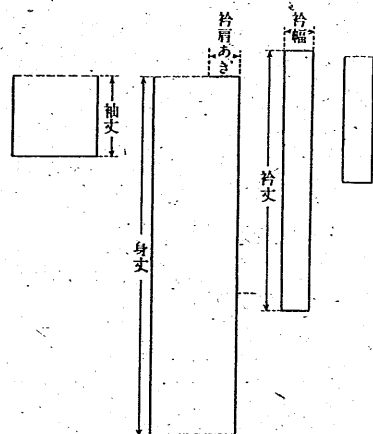
二 用布
三 寸法



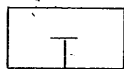
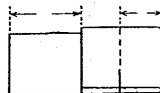
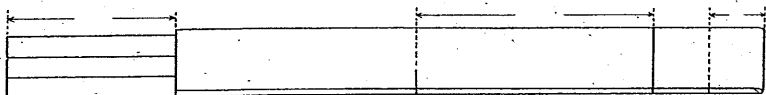
袖 丈	肩 幅	身 幅		ゆ き	着 ゆき	身 丈	着 丈	十四歳ぐらゐ 成人
		前	後					

四 裁ち切り寸法

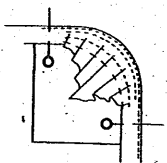
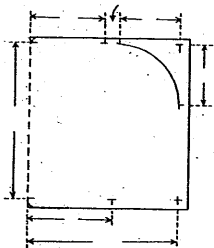
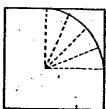
袖 口	袖 附け	袖 幅	身 八つ口	衿 下	衿 幅	衿 あき



五 裁ち方

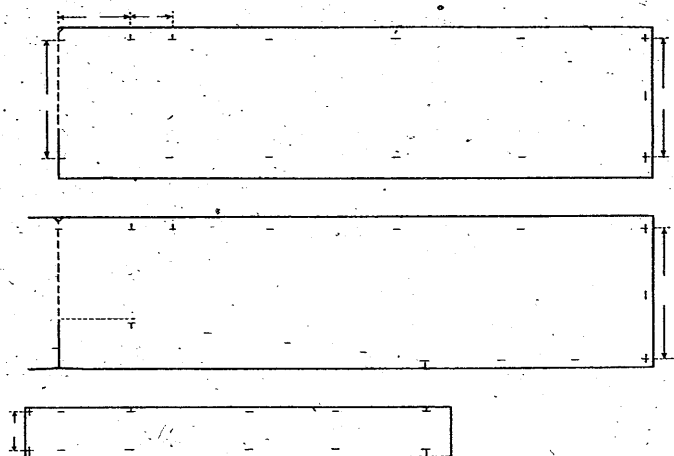


六 しるし付けと縫ひ方
1 袖

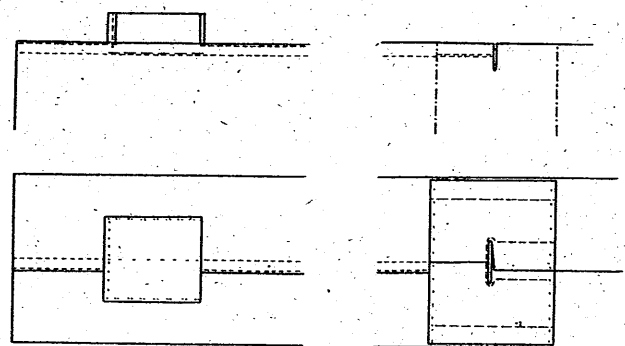


2 身ごろ・衿
しるし附け

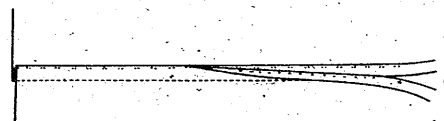
縫ひ方の順序



イ 衿肩あきをかける。
ロ 背縫ひ
ハ 肩當て・居敷當て



ニ 脇縫ひ



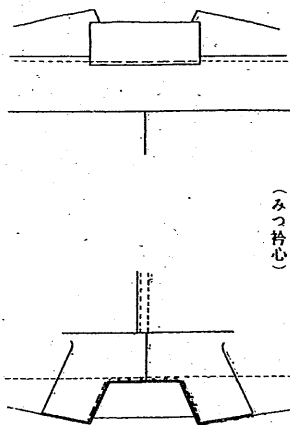
ホ 衿下くけ

ヘ 裾くけ

ト 衿附け

(つま先)

(みつ衿心)



衿くけ

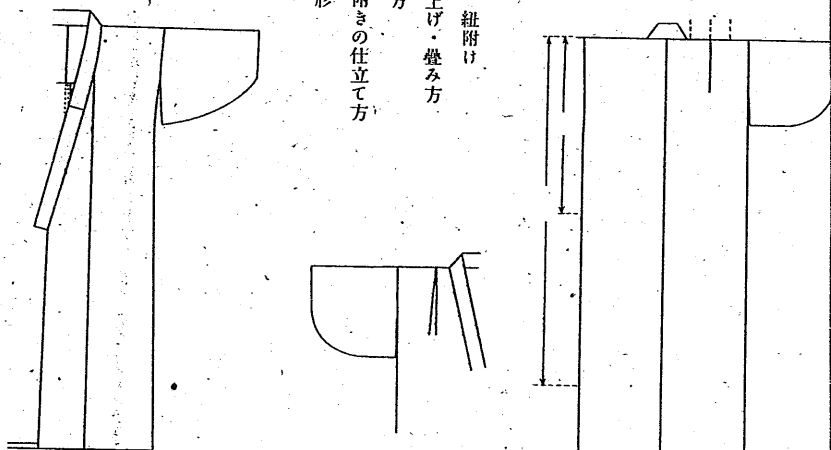
掛衿

チ 袖附け

リ 八つ口

ス 肩あげ・腰あげ

ル 紐附け
七 仕上げ・疊み方
八 着方
附 衿附きの仕立て方
1 形

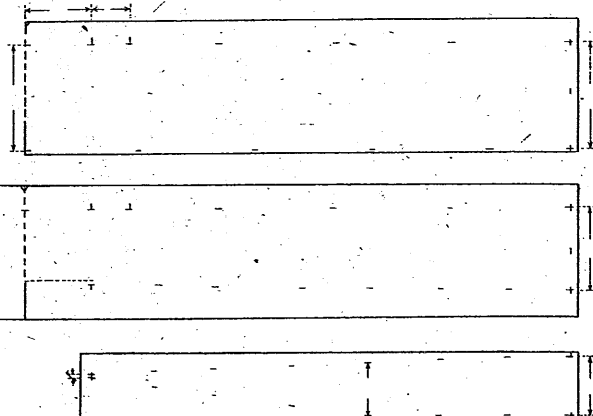


2 寸法

3 裁ち切り寸法

4 しるし付け

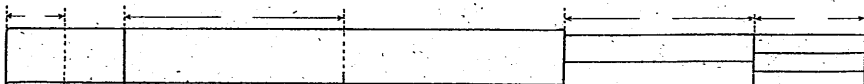
身幅	衿下り	衿幅	合ひづま幅	成人
前				
後				



5 縫ひ方

6 仕上げ・疊み方

一反九四七センチ（二丈五尺）を以つて
衿附き單長着を裁つ場合



昭和二十一年三月十三日 印刷
昭和二十一年三月三十日 印刷
昭和二十一年三月十三日 印刷

高等科裁縫 第一學年用 (第一分冊)

定價金 六拾錢

著作權所有 著者 文 部 省

發行所 東京都京橋區銀座一ノ五

翻行者 大日本圖書株式會社

代表者 佐久間 長吉郎

印刷者 佐久間 長吉郎

東京都牛込區市谷加賀町一ノ三
印刷所 大日本印刷株式會社

Approved by Ministry
of Education
(Date Mar. 18, 1946.)

東京都京橋區銀座一丁目五番地

發行所 大日本圖書株式會社

四 まる 洗ひ

一 準備

洗濯しようとする物が、裂けたり、穴がいたりしてゐたら、ど
うしますか。

二 洗ひ方 (木綿類)

イ 下洗ひ

ロ 本洗ひ

水とその量

石鹼・洗濯ソーダなど

ハ 洗ひ方

ニ すゝぎ方

ホ しぼり方

ヘ 糊付け

糊とその量

三 干し方

四 仕上げ

手伸し・敷伸し・アイロン仕上げ

五 スフ・麻等について

イ 水に對する性質

ロ 洗ひ方・しぼり方の注意

六 繕ひ

イ 紐・ボタン等

四 まる 洗ひ